

矢川駅南口駅前広場(交通広場)等の都市計画素案説明会とりまとめ

整理 番号	意見	市の考え・答え
<矢川駅周辺まちづくり事業>		
1	<p>今日の説明会でも、突然すぎるとか知らなかったなど意見はあるが、都市計画道路3・3・15号線については50年以上前から知っている。できるのを待ち望んでいるがいまだにできない。</p> <p>畑もそのうち宅地になり、ますます知らない人が増える。まちづくりの考え方には賛成、早くやってほしい。</p> <p>南部地域は、道路がなく消防車も入れないところがたくさんあり、今のままでは住んでいる人、越してきた人も不利益になる。東西道路はいいことで、さらには3・3・15号線だけでなく、縦の南北方向の道路も適切な間隔で通すまちづくりを考えて進めていただきたい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、引き続きまちづくりを推進していきたいと考えています。</p>
2	<p>都市計画道路3・3・15号線が計画されたのが昭和30年代、それが南武線の高架化とともにやっと実現するのだなというのを感じており、感無量である。それに伴い、駅前広場と東西道路ができるのも現実的な問題として歓迎している。</p> <p>目の前にあるところに行くのにかなり遠回りして行かなくてはいけないという現実がある。消防車が入れないことも長年の課題。</p> <p>おたか森通りの延長で道路ができればいいと前から思っていた。</p> <p>広場の予定地は家が建っており、現実的に買収するとどうなるかという心配はあるが、ぜひ強力に進めていただきたい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、引き続きまちづくりを推進していきたいと考えています。</p>

＜今後のスケジュール、これまでの経過＞		
3	都市計画手続きから工事着手まで、具体的に何年ごろになるのか。	今回示した交通広場等の計画では、都市計画決定を概ね令和8年度中、都市計画事業認可はその2年後の令和10年度を目指しています。
4	今後のスケジュールを教えてください。	事業認可取得後は、用地補償説明会、工事説明会、工事などの段階に入りますが、事業認可後の詳細なスケジュールは今後の検討となります。
5	都市計画審議会の構成は。	国立市都市計画審議会の委員は、学識経験者4人以内、市議会議員5人以内、関係行政機関職員1人以内、公募市民3人以内となっています。
6	前の計画では、矢川駅南側の矢川通りに面していない駅前広場だったが、現計画案では位置が変わっている。都市計画審議会で決めたのか。住民の意見など検討の経過を含めて教えてください。	<p>市で以前まで示していた計画では、矢川駅の南地域は土地区画整理事業により市街地を一体的に整備し、その中で道路や交通広場も整備する方針としていました。</p> <p>また、平成の初期には南部地域で地権者の皆様による土地区画整理事業が多く実施され、矢川駅南口、谷保駅南口なども土地区画整理事業の実施に向けた動きがありました。しかし実施には至らず、交通広場と取付道路の計画について、引き続き整備の方針を示していたところです。</p> <p>今回示している計画は、その後、市において改めて検討、調査を行い、令和3年度に南武線沿線まちづくり方針、令和5年度に矢川駅周辺基盤整備計画、令和6年度に南部地域整備基本計画改定版を策定し、その過程で皆様との意見交換、検討を繰り返し行いながら作成したものです。</p>
＜矢川駅周辺の人口動態＞		
7	南口駅前広場の整備により、周辺の人口動態はどのように考えているか。	<p>市全体の人口は令和3年度をピークに令和7年度までは若干減少しており、将来人口推計でも少しずつ減少する数値となっています。</p> <p>ただし、南部地域では今後も増加する予測も出ていることから、引き続き周辺地域の人口動態も含めて考えていきます。</p>

<交通広場の位置、配置、機能>		
8	マンションやアパートが建っているところに交通広場を作ろうとすると移転などに時間がかかるのではないか。駐車場や畑がある場所の方が早くスムーズにいくと思う。	交通広場等の配置の検討に際しては、必要最低限の面積でいかに機能を高められるかという考え方にに基づき、さらに事業の経済性も検証しています。 事業実施に際しては、関係権利者への補償などに関する丁寧な説明を行いながら協議、対応していきます。
9	都市計画道路3・3・15号線と3・4・5号線は、私たちの自治会では団地、保育園、学校通学路の分断、大型トラックが通行する道路になることなどから基本的に反対している。 南口広場を作り、都市計画道路7・4・1号線と3・3・15号線を結ぶ予定になっているが、都市計画道路と矢川駅南側の整備の関係性は。	都市計画道路3・3・15号線と3・4・5号線は既に決定された都市計画道路で、令和5年9月に施行主体の東京都が計画変更の都市計画素案説明会を実施しております。 国立市が整備する矢川駅南口交通広場と取付道路は、その西側でこの都市計画道路3・3・15号線に接続させる計画となっており、南口交通広場の交通結節機能等を発揮させるためにこの規模の東西方向の取付道路が必要であると考えています。 バス、タクシーを含めた自動車、歩行者、自転車と鉄道との乗り継ぎが円滑になされる交通広場の動線や駅南地域の周辺道路との接続を検討し、また地域内に東西の交通動線がないという従来からの地域の課題等を総合的に勘案して、今回の都市計画素案を提案しています。
10	交通だけに重点を置かず、住民や駅利用者がどう動くかを考えてほしい。鉄道の北と南をどう繋ぎ、高架下はどう使えるのか。バス乗り場への歩行者動線、交通広場への自動車の動線は。人が集い憩える広場はできるのか。 広場の作りについては、市民の意見を聞きながら検討してほしい。	南口交通広場の規模は、広場に必要機能を想定し、各機能の配置も様々な案を検討しています。 鉄道の高架化により踏切がなくなるため、矢川通りは高架下を自動車、歩行者が自由に行き来できるようになります、 バス乗降場については今後のバス事業者等との協議によりますが、現在の矢川駅始発のバス乗車場が矢川通りに設置されていることなどの現状の課題解消に向けた南口交通広場の整備を考えていきます。 南口交通広場への自動車の出入りは、安全で円滑な利用のため取付道

		<p>路からの動線としています。</p> <p>歩行者動線として、矢川通りの歩道と交通広場の歩道が一体となった広い歩行者空間を想定しています。</p> <p>引き続き市民の皆様のご意見をうかがっていきます。</p>
<矢川駅の南地域>		
11	<p>矢川駅南側の地域には、火事が起きても消防車が入っていけない道路がたくさんある。取付道路と駅前広場だけではなく、例えば区画整理や再開発によるまちづくりは考えられないか。</p> <p>駅と都市計画道路3・3・15号線の間南北の道路をもう1本通す、また矢川プラス横から南下する道路を真っ直ぐ南側に通すなどはどうか。</p>	<p>矢川駅の南地域には狭あい道路や行き止まり道路が残り、消防車が入っていけない、消火活動が十分にできない消火活動困難地域があります。</p> <p>今回の交通広場、取付道路の整備により大幅な改善が図られますが、甲州街道までのエリアにはなお狭あい道路などが残ることから、この地域の土地利用や区画形成について、引き続き課題解決に向けた検討を進めていきます。</p>
12	<p>取付道路ができて甲州街道と南武線、それから矢川通りと都市計画道路3・3・15号線で囲われた区域内の道路状況はほとんど変わらないのではないか。</p> <p>この区域には子どもたちが遊べる公園が一つもない。公園の整備も含めて都市計画を考えてほしい。</p>	<p>甲州街道と南武線、矢川通りと都市計画道路3・3・15号線で囲われたエリアは、第一種低層住居専用地域で、農地も残っている地域です。</p> <p>農地と調和した住宅地を残しつつ安全な道路や公園の整備を考えていきます。</p>
13	<p>取付道路と甲州街道の間は従来の細い道がある。その整備しないのか。</p>	
<事業費・予算、連立スケジュール>		
14	<p>用地取得は膨大な予算がかかる。南口広場や取付道路を急いで作る必要があるのか。南武線高架化の費用も1kmあたり220億円かかる。市全体の財政運営の中で予算面ではどう位置づけているのか。</p> <p>南部地域整備基本計画の中間見直しによると、矢川駅南の整備事業が総額102億円となっている。そんな多額のお金をかけてやる必要があるのかを広く市民に聞いていただきたい。</p>	<p>交通広場と取付道路を現時点で整備した場合の事業費は約43億円と試算しています。</p> <p>一般的な財源の考え方として、国から50%、東京都から25%の補助金があり、残りの25%が市の負担で、都市計画事業のため都市計画税を充てることができます。</p> <p>都市計画素案の事業費等を試算し、都市計画税、国や都の補助金等の財</p>

		<p>源確保、市の負担軽減などについて市の財政担当部署とも協議しています。</p> <p>事業費は大変重要な問題であり、今後も丁寧に説明していきたいと考えています。</p> <p>102億円は、改定前の南部地域整備基本計画(平成26年)において、矢川駅の南地域で面的整備を実施した場合の事業費試算です。現時点での事業費の試算とは異なります。</p>
15	<p>南口交通広場は南武線の高架化が完了しないことには完成しないように思うがどうか。また高架化に対する市の負担はどのくらいか。</p>	<p>南武線谷保駅から立川駅間の連続立体交差事業は、令和5年の都市計画素案説明会で、事業期間は約13年と示されています。</p> <p>一方、矢川駅南口交通広場等の整備も、基本的には南武線連立事業のスケジュールと合わせて進めていく予定です。その上で、用地取得、道路整備の進捗状況により、暫定的な開放などを適宜検討していくことになります。</p> <p>連立事業の事業費は、原則として国、JR、東京都、沿線市が決められた割合で負担することとなっており、地域の状況に応じた実際の負担額をどうするかなどは、今後協議していきたいと考えています。</p>
<矢川駅高架化による騒音>		
16	<p>矢川駅の高架化により、騒音はどういう状況になるのか。</p> <p>矢川駅では最近ホームドアが設置され、開閉時の電子音が気になるようになった。JRに対応してもらっているが、高架化によって騒音は抑えられるのか。</p>	<p>現在、東京都が連続立体交差事業の実施に向けた環境影響評価書案を作成しており、高架後の騒音や振動等の周辺環境への影響について今後説明がある予定です。</p>
<市民への説明・意見聴取に関すること>		
17	<p>地域住民の声をどれくらい聞いているのか。話し合いの機会を設けることは考えているか。</p> <p>今日の説明会で素案が説明され、その後都市計画案を作成するとのこ</p>	<p>南口交通広場整備の必要性については、昭和42年の国立市制になった頃からすでに地域の声をいただいております、市の計画でも示してきました。</p>

	とだが、それまでの間に住民説明会を開いてほしい。	平成28年には地域の皆様による自発的な勉強会が始まり、改めて地域においてまちづくりや交通広場整備の機運が高まってきました。 その後、市も地域に入り戸別訪問、自治会・商店街等との個別意見交換、矢川駅前でのまちかど報告会、パブリックコメント等を実施し、地域の皆様から多くのご意見やご提案をいただき、その成果として今回初めて都市計画素案を示しています。 都市計画道路の整備にあたりましては、地域の皆様のご理解、ご協力が不可欠ですので、引き続き丁寧に取り組んでいきます。
18	丁寧な説明とはどの程度か。自治会や商店会以外の住民に説明がないのでは。近所の方は誰も知らない。	令和3年度は駅南地域の地権者の皆様との個別意見交換、南部地域まちづくりに関する意見交換会を3回、自治会・商店会等20団体との意見交換、南武線沿線まちづくりのパブリックコメントで26人、122件のご意見をいただきました。 令和4年度は約60件の戸別訪問を実施しました。 令和5年度は矢川駅前でのオープンハウスで約200人のご来場、その他パブリックコメント、意見交換会、自治会との意見交換、戸別訪問を実施しています。 令和6年度は矢川駅にパネルを展示し、まちづくりニュースを令和5年度に引き続き発行して意見をいただきました。 全ての方とお話しができていないことは認識しておりますが、市として考えられる様々な取組を行っています。
19	60数年前に作られた都市計画道路3・3・15号線という大きな道路を作って開発型のまちづくりを行うのは時代が違う。マスタープランや以前の計画も見直す時期で、これからの社会、国立がどういう方向を向いてまちづくりをするのかをもっと意見交換し、税金を使い道路を作ることについて真剣に考えるべき。	取付道路は計画幅員16mですが、車道部分の幅員は東側のおたか森通りの車道幅員と同じです。歩道と自転車通行帯に十分な幅員を確保したことにより全体の幅員が16mとなっています。 交通広場、アクセス道路の整備においては、まず誰もが安心して快適にまちを歩ける歩行環境を考慮し、加えて交通広場ではバス、タクシー、自

	<p>個別訪問では一部の人たちの意見に終わっている。市は全住民の意見が聞ける方法を考え、住民間で意見交換すべき。</p> <p>消防車が通れないなど細かいところは多分放っておかれて、大きな道路ができる。大きな道路が及ぼす影響は大きい。それを住んでいる人も市もよく考えるべき。</p>	<p>家用車等、歩行者、自転車から鉄道に安全・円滑にアクセスできるように交通結節機能、あるいは都市の広場機能等を重視しています。</p> <p>取付道路は、以前の道路計画より面積を減らし、地域への影響を低減した上で効果的な位置と長さ、形状を提案しています。</p> <p>丁寧な説明や意見聴取として、これまでも様々なご意見をいただいております、今後も引き続き努めていきます。</p> <p>地域にお住まいの方、国立市民にとって大切なことを第一に考え、今回の都市計画素案を提案させていただいています。</p>
<その他>		
20	<p>南部地域を都市化するよりも田園住居地域のエリアとして大事にしていくのが基本ではないか。大きな都市計画、根本的な方向性を考え直してほしい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、引き続きまちづくりを推進していきたいと考えています。</p>
21	<p>狭い道路、曲がりくねった道路を広げて今よりも安全に、あるいは子どもたちが遊ぶ公園を作ることは進めてほしいと思うが、それと大規模な道路とは少し違う。</p> <p>大きな道路の周りは開発になっていく。大きな道路を作ることについては慎重に考えていきたい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、引き続きまちづくりを推進していきたいと考えています。</p>